

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 4 月 20 日(2022.4.20)

【公開番号】特開 2020-177151(P2020-177151A)
【公開日】令和 2 年 10 月 29 日(2020.10.29)
【年通号数】公開・登録公報 2020-044
【出願番号】特願 2019-79648(P2019-79648)
【国際特許分類】

G 0 3 G 1 5 / 0 1 (2 0 0 6 . 0 1)

10

G 0 3 G 1 5 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

G 0 3 G 1 5 / 0 1 S

G 0 3 G 1 5 / 0 0 3 0 3

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 4 月 12 日(2022.4.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部から入力される入力画像情報に基づき変換後画像情報を生成するコントローラと、
回転可能な像担持体と、
表面に現像剤を担持し、前記像担持体と対向する現像部において、前記像担持体の表面に
変換後画像情報に基づいて形成された静電潜像に前記現像剤を供給する現像剤担持体と、
前記現像剤担持体に現像電圧を印加する現像電圧印加部と、を有し、
前記コントローラは、
前記入力画像情報を、ベクタ画像もしくはラスタ画像に展開する展開手段と、
前記展開手段により展開された前記ベクタ画像の第 1 展開後画像情報と前記ラスタ画像の
第 2 展開後画像情報と、に対してそれぞれ色調整制御を行う制御手段を含み、
前記像担持体に対する前記現像剤担持体の周速比を所定の周速比にして、前記像担持体に
形成された前記静電潜像を現像する通常画像形成モードと、前記周速比を前記通常画像形
成モードよりも大きくすることで、記録材に形成される画像の色域を前記通常画像形成
モードよりも拡大する広色域画像形成モードと、を実行可能な画像形成装置において、
前記制御手段は、前記広色域画像形成モードが実行される場合、前記第 1 展開後画像情報
と、前記第 2 展開後画像情報と、で異なる色変換条件を用いて前記色調整制御を行うこと
を特徴とする画像形成装置。

30

40

【請求項 2】

前記制御手段は、
前記ラスタ画像に対して、色再現性を調整するカラーマッチング部と、
前記カラーマッチング部で色再現調整をされた色空間データを前記現像剤の各色に変換す
る色分解部と、
前記色分解部で変換されたデータを補正する γ 補正部と、
前記 γ 補正部によって補正された後の色データに対して階調表現処理が行われるハーフト
ーニング部と、
を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

50

前記制御手段は、前記第 1 展開後画像情報と、前記第 2 展開後画像情報と、で前記 γ 補正部の γ カーブを変えて前記色調整制御を行うことを特徴とする請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記第 1 展開後画像情報と、前記第 2 展開後画像情報と、で前記色分解部の変換テーブルを変えて前記色調整制御を行うことを特徴とすると請求項 2 に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本願発明における画像形成装置は、外部から入力される入力画像情報に基づき変換後画像情報を生成するコントローラと、回転可能な像担持体と、表面に現像剤を担持し、前記像担持体と対向する現像部において、前記像担持体の表面に変換後画像情報に基づいて形成された静電潜像に前記現像剤を供給する現像剤担持体と、前記現像剤担持体に現像電圧を印加する現像電圧印加部と、を有し、前記コントローラは、前記入力画像情報を、ベクタ画像もしくはラスタ画像に展開する展開手段と、前記展開手段により展開された前記ベクタ画像の第 1 展開後画像情報と前記ラスタ画像の第 2 展開後画像情報と、に対してそれぞれ色調整制御を行う制御手段を含み、前記像担持体に対する前記現像剤担持体の周速比を所定の周速比にして、前記像担持体に形成された前記静電潜像を現像する通常画像形成モードと、前記周速比を前記通常画像形成モードよりも大きくすることで、記録材に形成される画像の色域を前記通常画像形成モードよりも拡大する広色域画像形成モードと、を実行可能な画像形成装置において、前記制御手段は、前記広色域画像形成モードが実行される場合、前記第 1 展開後画像情報と、前記第 2 展開後画像情報と、で異なる色変換条件を用いて前記色調整制御を行うことを特徴とする。

20

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

この L U T 1 を使用することで補正後 γ カーブ 1 は、図 6 の左下のグラフのようにリニアになる。

40

50